たまがわ

児童数
男84人 女72人 計156人
発行
大仙市立四ツ屋小学校ＰＴＡ
編集
ＰＴＡ総務部

「ゆりの木」に見守られ ふみ出す一歩

校長　金子徹章

新型コロナウイルス感染症の流行と四月下旬からの非常事態宣言を受けての臨時休校という、これまで経験したことのない新年度のスタートでした。様々な制約がある中で、学習や活動を進めることができるのかと心配していましたが、子どもたちは安全に充実した日々を過ごすことができております。これも、ご家庭や地域の方々のご支援のおかげと感謝しております。ありがとうございます。

今年も六月上旬、校庭のゆりの木がたくさんの花を咲かせました。茂った葉の間に咲くので気づきにくいのですが、チューリップに似た薄黄色の花弁の中心がオレンジ色に色付く素敵な花です。本校には「ゆりの木ホール」「ゆりの木タイム」「ゆりの木山」「ゆりの木の集い」「ゆりの木の友よ（応援歌）」など「ゆりの木」のつく言葉がたくさんあります。これは、学校のシンボルツリーとなっている校庭の「ゆりの木」に由来しています。この「ゆりの木」は、私が小学生の頃も今と同じぐらい大きな木だったと記憶しています。樹齢ははっきりとはしませんが、昭和三十年代の四ツ屋中学校があった当時の航空写真にも「ゆりの木」が写っていることから、少なくても六十年以上、四ツ屋小学校を見守り続けてきてくれたことになります。これから先も、ずっと四ツ屋小学校を見守り続けてくれることでしょう。

さて本校では、学校教育目標を昨年度に引き続き「夢に向かってふみ出す一歩」と定め、学校生活や学習活動の様々な場面で、子どもたちが「一歩をふみ出す」場を意図的に設けることで、「夢に向かって一歩をふみ出すための資質・能力」を育んでいきます。

その取組として、今年度は特に「総合的な学習の時間」の見直しを行い、これまで以上に四ツ屋地域に根ざした活動を進めていくことにしました。例えば、三年生「四ツ屋まつりについて調べ、花火灯籠を制作したりステージに出演したりする。」、四年生「花火について調べ、花火のデザインに挑戦する。」、五年生「四ツ屋地区の農業や商店や施設などの様々な仕事について調べ、職業観を確かにする。」、六年生「四ツ屋地区の仕事を体験することで、自分の将来について考える。」などです。

新型コロナウイルスの感染防止のために活動が制約されることもありますが、今年度も「ゆりの木」に見守ってもらいながら、子どもたちが確かな一歩をふみ出していけるように、全職員で誠心誠意、取り組んでまいります。

今後も、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

心のつながりは密接に

ＰＴＡ会長　太田正志

本年度もＰＴＡ会長の重責を担うこととなりました。日頃よりＰＴＡ活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年度末より続いておりますコロナ禍の影響で、今年度は様々な学校行事の中止や延期、縮小と今までに経験のないことの連続で情報収集、検討の日々が続いております。私たち保護者一人一人が新しい生活様式について理解し、実践することで感染拡大防止に努めると共に、子供たちや大切な家族を守ることに繋がります。このコロナ禍に隠れて忘れがちなのが自然災害対策です。昨年度も全国各地で局地的大雨や河川の増水、突風による住宅被害、地震など自然の力に驚かされるとともに、その対策について日頃の備えの大切さを実感させられました。また、避難所でのコロナ対策も今後の検討要素であり、万が一に備えて避難行動の確認をしておく必要があると感じます。

今年度も小学校玄関前であいさつ運動を実施しております。開催日につきましては、毎月第一・第三水曜日の月二回となっております。地域の皆様も是非ご参加くだされば幸いです。あいさつは、人との繋がりを生みだします。「出会いは一瞬、繋がりは一生」という言葉がありますが、私は三つの繋がりについて大切にしていただきたいと思っております。

一つ目は、「親と子のつながり」です。コロナ禍により家庭環境が変わったご家庭も少なくないと思いますが、お仕事されている保護者にとって我が子と過ごす時間は大切なことです。家庭内でのあいさつやスキンシップで親子の絆を深めていただきたいと思います。

二つ目は、「保護者同士のつながり」です。子育ては喜びだけではなく、悩みや辛いことも伴います。心配ごと、困りごとは抱え込まず、子育ての先輩に相談してみてください。きっと前向きな考えが生まれるはずです。

三つめは、「地域と学校のつながり」です。四ツ屋地域の大人と子供たちが繋がることで、自分の住む町の良さや、将来の社会対応能力を培っていただきたいと思います。そのためには、笑顔であいさつを交わし、四ツ屋の笑顔が増えることを願っております。

結びに、ＰＴＡ会員の皆様、地域の皆様、このコロナ禍における様々な変化に苦慮されておられると思いますが、本年度もＰＴＡ活動に対しまして、ご指導・ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

大仙市に赴任と聞いたときは、とても不安でした。しかし、そんな不安を子どもたちの明るい挨拶が吹き飛ばしてくれました。明るく素直な子どもたちに囲まれて充実した毎日を過ごしています。

地域の皆様、これからどうぞよろしくお願いいたします。

教頭　滝沢　治

明るく元気な子どもたちとようやく、少しずつですが通常の活動ができるようになってきました。

これから、いろいろな活動を通して、早く全校の子どもたちと仲良くなり、元気で頑張る姿を応援していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いします。

養護教諭

明るく元気あふれる三年生をはじめ、子どもたちのよさを知り、改めて四ツ屋小学校に赴任できたことの喜びを感じています。温かい保護者や地域の皆様と力を合わせて、子どもたちの輝きを引き出していきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

教諭

四ツ屋小学校の子供達と出会った時、挨拶が素晴らしく、元気に外で遊び、とても素直な子供達に感動しました。朝は校内に響き渡る歌声に毎日元気をもらっています。まだ四ヶ月しか経っていませんが、これからもっと子供達と仲良くなりたいです。宜しくお願いします!!

校務員

ユーモアあふれる元気いっぱいの二年生とワイワイ楽しく過ごしているうちに、あっという間に暑い夏になりました。子どもたちが笑顔で学校生活を送れるように、微力ながらサポートしていきたいです。

どうぞよろしくお願いします。

生活支援員

元気な声が笑顔と共に広がる四ツ屋小学校に昨年十月からお世話になっております。

今年度、子どもたちと過ごせる日常が、どれだけ貴重な日々であるかを感じています。

まだまだ不慣れではございますが、どうぞよろしくお願いします。

生活支援員

引き続きご尽力くださっている方々

主査
教務主任
少人数TT担任
一年梅組担任
二年梅組担任
二年松組担任
四年梅組担任
四年竹組担任
五年梅組担任
六年梅組担任
学校生活支援員
用務員

愛さつで（あい） 結んでいこう（むす） 四ツ屋の輪（よつやわ）

ＰＴＡ副会長　小松拓朗

皆様、こんにちは。新型コロナウィルスの影響で自粛していたあいさつ運動ですが緊急事態宣言の解除を受けまして、六月より実施しています。久々に子供達が元気に登校している様子を見ると、当たり前だと思っていた日常の光景の尊さを実感しました。そして、この日常を守っていく為に、今年度は以下の三つの点に留意しながらあいさつ運動を実施していきたいと思います。

① 人と人との距離が近くならないように一定の間隔を空けて並ぶ。

② 七時三十分から七時四十五分までの十五分間で行う。

③ マスクを着用して行う。

距離を取ろうが近くなろうが、一致団結して、時間が短ろうが一所懸命に、マスクをしてようが目で気持ちを伝えられるように今年度も愛さつで四ツ屋小学校の輪を広げていければと思います。

皆様、参加とご協力よろしくお願いします。

今年度の「あいさつ運動」

七時三十分～四十五分　四ツ屋小児童玄関前

4／6（月） 4／14（火） 5／12（火）	中止
6／3（水）	6／17（水）
7／1（水）	7／15（水）
8／21（金）	
9／2（水）	9／16（水）
10／7（水）	10／14（水）
11／4（水）	11／18（水）
12／2（水）	12／16（水）
1／14（木）	
2／2（火）	2／17（水）